

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 14 号

令和 7 年 9 月 24 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

夏休みにおける子供たちの努力が伝わる「夏休み作品展」・課題提出から

授業参観・学級部会への参加、ありがとうございました。また、夏休みに取り組んだ作品の展示も行い、取組状況を拝見しました。子供と御家庭における相談・話し合いの時間が設けられ、工作や絵画・ポスター、自由研究等に取り組み、力作揃いでした。中には、子供自ら計画を立て、テーマを選択し、課題追究に取り組んだ作品もありました。これもひとえに、保護者の皆様の御理解と御協力によるものだと思います。

また、人権標語や6年生「社会を明るくする運動」の意見文作成にも取り組んでいただき、広い視野で社会を見つめる機会になったのではないかと思います。



エン先生からネイタン先生へバトンタッチ（外国語・外国語活動）

これまで3年間お世話になったEATのエン先生は、9月17日（水）最後の指導となりました。学級担任と打合せを行い、子供たちが楽しく英語の学習ができるよう工夫されていたのが印象的です。子供たちは、英語に親しみ学ぶ喜びを感じたと思います。母国フィリピンへ戻られ、高校の先生としてお勤めになるそうです。

また、これからは、新たにALT（英語指導助手）として、ロ之津中学校からネイタン先生が毎週水曜日来校され、英語指導を学級担任とともに行っていただきます。



有家中学校3年生による職場体験学習（9月17日・18日）

7月の2年生に続き、今回3年生二名が職場体験学習を行いました。小学校の子供たちも、先輩たちが訪れたことに喜びを感じ、たくさん話をしていました。

二人は、学習の手助けや丸付けを行ったり、一緒に遊んだりして活動しました。子供たちとの関わりは大変だけど、やりがいを感じたと感想を述べていました。

残り半年、充実した中学校生活を送り、たくさん活躍することを願います。



子供たちの学力と学習習慣・生活習慣の関係について (調査結果より)

令和7年度の全国学力学習状況調査結果の報告をみると、次のような内容が記されていました。本校児童にとって、全国や県平均よりも正答率の高い問題もありましたが、同様に正答率の低い問題もありました。子供たち一人一人は難問に向き合い、頑張っていました。今後の学習への取組の参考になればと思い、概略を掲載しています。

①教科の調査結果から

【国語】 小学校では目的に応じて文書と図表などを結びつけるなどして必要な情報を身に付けることや、中学校では自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠を明確にして書くことなどに課題が見られた。

【算数】 数直線上の分数を捉えることや、百分率を倍を使って表現することなどに課題が見られた。

【理科】 電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することなどに課題が見られた。

→ どの教科においても言えることですが、学習のめあてを設定し、課題を解決するために、個人の力で、あるいは仲間と協働して解決に導きます。そして、目的に応じて自分の考えを明確にしていくなかで、「なぜ、そう考えるのか」、既習事項と関連づけた説明、根拠をもった説明が必要とされます。このことを粘り強く繰り返して指導を重ねます。

②質問調査結果から

○「授業では、自分で考え、自分から取り組んでいる」や「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」と回答した児童が低い。また、「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した児童の割合も低い。

○「学級の仲間と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている」と回答した児童は、若干低い。

○「授業以外に、1時間以上の学習をしている」と回答した児童は低い。

○「主体的・対話的で深い学び」取り組んだと考える児童、そして、ICT機器を活用する自信があると考えている児童ほど、各教科の正答率が高く、探究的な学習に取り組んでいると回答している。

○全ての教科において、授業の内容がよく分かると回答した児童の割合が減少し、学校の授業時間以外の勉強時間が減少傾向にある。

また、学校外での過ごし方に影響を与えるものとして、次のようなことが挙げられています。

○子供と勉強の話をする保護者の割合は減少している。自分の親と勉強の話をする子供の方が、勉強時間が長い。

○学校生活が楽しければ、良い成績を取ることにこだわらない保護者の割合は増加している。

このような保護者の子供の方が、勉強時間が短い。

○「ゲームの時間を限定している」保護者の子供の方が、テレビゲームの時間が短い。

○「スマホルールを守るよう促す」保護の方が、SNSや動画視聴の時間が短い。

○授業が「よく分かる」と回答している児童の方が勉強時間が長く、テレビゲーム、SNS・動画等の時間が短い。

○授業がよく分かる場合も分からない場合も、家で保護者と勉強の話をする児童の勉強時間が長い。



つまり、学力は、学習のめあてをしっかり把握し「授業がよく分かる」こと、家庭内で「勉強の話をする」こと、学校のみではなく、家庭においての「平日の勉強時間」が確保できていること等が、大きく影響していると言えます。

いかに、与えられた課題だけに取り組むのではなく、子供一人一人が、自分の課題に合わせて、より深く、こだわりをもって自主的な学習に取り組むかが大切ではないかと思えます。

《学力とは直接関係するか分かりませんが、心の安定は、学習への集中力へとつながる・・・》

同様に、家庭内で子供さんと一緒に「空間」と「時間」を設け、何気ない会話を交わしたり、一緒になって仕事(手伝い)を行ったりすることで、心に栄養を蓄え、愛情を感じるようになると思います。そのことが、他者へ愛情を注ぎ、良き「仲間」づくりへとつながっていくのではないのでしょうか。

